

豊かな心の育成に向けての取組

○豊かな心の育成に向けて...

- ・他者への思いやりの心、相手意識を育むとともに、コミュニケーション力を伸ばします。
- ・集団生活の中で、自己有用感・自己肯定感を育みます。
- ・規範意識をしっかりとたたえます。

○そのために...

- ①異学年交流（ペア活動）では、年間計画を見直し、計画の時間を確保して、より活動の充実を図ります。

異学年交流（ペア活動）とは？

ねらい

- ・異学年の仲間と交流することによって、人間関係を深めたり望ましい行動を考えて実行したりすることができる。
- ・高学年のリーダーシップを育て、学校集団としての活力を高め、楽しく豊かな学校生活をつくるようにする。

ペア学年（基本的に1年間を通じて同じペア、グループ）

- ・6年生と1年生がペア
- ・5年生と3年生がペア
- ・4年生と2年生がペア



活動予定

☆顔合わせ集会

☆休み時間の遊び

- ・1年生のお手伝い ・体力テスト ・クリーン作戦
- ・昔遊び、なわとび、ドッジボール（他にダンス）などの集会
- ・学習の発表、総合的な学習の時間の伝え合いなど

②体験学習や宿泊学習を通して、豊かな感性を育み、子どものよさを引き出します。

- ・農事体験...栽培活動を通して、生命への意識、試行錯誤する態度などを育てる。
- ・重点研究として、「生活科」「総合的な学習の時間」に取り組む。
- ・上郷体験学習...4年生（1泊2日）
- ・赤城体験学習...5年生（2泊3日）
- ・日光修学旅行...6年生（1泊2日）

☆集団での共同生活を通して、
責任感・協調性・社会性を身につける。
☆国立公園、世界遺産から環境や歴史を学ぶ。

③道徳教育の充実を図ります。

- ・教材研究、教材開発に励む。
- ・人権教育の視点に立った授業公開を、年間1回以上行う。
- ・「あゆみ」に取組の様子を記入し、家庭と連携して道徳的実践の態度を身につける。

状況に応じて、変更
になる可能性あり。



④委員会の活動を通じて、子どもたち同士の心の交流を図ります。

- ・各委員会が企画する交流イベントの開催。

○すべての活動に、人権教育の視点を...

人権教育の取組について

- ・「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指して
- ・人とつながり、互いのよさを認め合い、支え合う集団（学級・学年・学校）づくりを目指して
という理念を受けて・・・

◎本年度の人権テーマ

自分を認め、相手を認め、
ともに生活や学びをきりひらいていく子どもたちとその集団づくりをめざして

◎活動の内容

①人権教育の全体計画をもとに実践化を図ります。

- ・児童への啓発活動を行います。
- ・スピーチコンテストへの参加を積極的にします。
- ・人権週間の取組を計画的に行います。
- ・各教科、道徳、特別活動にて人権教育の視点にそった授業実践をします。
- ・スクールパートナーとの連携を図り、活動の意義を高めていきます。



②職員の人権研修を進めていきます。

- ・人権教育の推進について職員研修を実施し、共通理解を図ります。
- ・各人権研修会で出された報告を共有します。

③保護者や地域への啓発活動を行います。

- ・人権教育の視点に立った授業参観を年に1回行います。
- ・学級懇談会等での啓発を行います。